



令和2年度 函館市自主防災リーダー養成研修

(中上級コース)











函館市避難所運営マニュアルの改訂

函館市避難所運営マニュアル 令和2年6月改訂の概要

1. 改訂の趣旨

令和2年4月17日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止のための緊急事態措置が、北海道内全域において実施され、本市においても、外出の自粛要請や休業要請等様々な対策を講じ、感染拡大の防止に努めてきたところです。

本市の避難所運営マニュアルについては、平成30年5月の全部改訂において、国および北海道の指針やガイドライン、マニュアル等を踏まえて、避難所の衛生管理や感染症まん延防止対策などによる避難者の健康確保に努めることを明記したところですが、現在の状況において、災害が発生し、避難所を開設、運営するにあたっては、密閉、密集、密接の3つの密を避ける等、新型コロナウイルスなどの感染症対策を徹底する必要があることから、必要な対策を追加するなどの改訂を行いました。

2. 内閣府等の技術的助言を踏まえた改訂

「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」（令和2年4月1日付け府政防第779号他）のほか、これまでに内閣府等から発出された技術的助言を踏まえた修正

- 新型コロナウイルス等感染症対応時の避難所のレイアウト等の見直し
- 発熱や咳等の症状が出た者のための専用スペースの確保等

3. 北海道版避難所マニュアルの改正を踏まえた改訂

①感染症対策（新型コロナウイルスを含む）の規定

- 感染症対策のために必要となる物資の例示
- 避難者ごとに適切な間隔を確保することや、親戚や友人の家等への避難の検討 などによる密集の防止
- 避難所運営に携わる者も含めた避難者等の健康管理
- 手洗い、咳エチケット等の基本的な感染症対策による避難所の衛生管理

②平成30年北海道胆振東部地震災害検証委員会の提言を踏まえた見直し

- 各避難所への施設利用計画を含めた避難所運営マニュアルの配布
- 携帯電話等の充電スペースの確保

4. その他の改訂

- ①最近の防災対策等の充実強化を踏まえた修正
 - ・ 気象庁が発表する防災情報を活用した情報収集
 - ・ 警戒レベルを用いた避難情報を発令することとした函館市地域防災計画との整合
- ②その他所要の修正
 - ・ 感染症対策の追加を踏まえた避難所撤収期における業務の追加等



新型コロナウイルス感染症対策に配慮した 避難所運営のポイント

引用：徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課



現在、新型コロナウイルス感染症の拡大が危惧される中で地震や豪雨などの大規模災害が発生した場合、避難所でクラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあり、
災害+クラスターという

「過去に例を見ない複合災害」への備えが求められています。

避難所での3密を避けるため

「スペースの確保」

「パーティションや段ボールベッド等の
効果的な活用やレイアウトの方法」

「避難者の受付」

「施設の衛生対策」

1 事前受付

(健康な人と発熱・体調不良者の確認)

I 事前受付

「事前受付」は、避難所に訪れた人が最初に立ち寄る場所です。体育館等の避難所に入る前に検温や体調確認を行い、「健康な人」と「発熱や体調不良のある方」の動線を分けてそれぞれの居住スペース及び専用スペースに案内します。



事前受付の
解説動画はこちら



■ 夏場に屋外で受付をする場合は、受付前にテントを設置するなどの熱中症対策を行います。

「事前受付」は、避難所に訪れた人が最初に立ち寄る場所です。体育館等の避難所に入る前に検温や体調確認を行い、「健康な人」と「発熱や体調不良のある方」の動線を分けてそれぞれの居住スペース及び専用スペースに案内します。



ポイント

- 事前受付はできるだけ避難所入口の外に設置する。
- 避難者が2m間隔で並ぶよう立ち位置の目印を付する。
(運営スタッフによる声かけも行う)
- 検温と消毒を必ず行い、「健康な人」と「発熱や体調不良のある方」の動線を分ける。
- 発熱や体調不良のある方を専用スペースに案内するスタッフは
PPE(個人防護具)を装着する。
- 持ち物の確認や健康状態のチェック等、対面での会話を行う際は
飛沫感染防止スクリーン等を設置する。



■ 2m間隔で並べるよう足下に目印を付けます。



■ 避難者のソーシャルディスタンスを徹底。

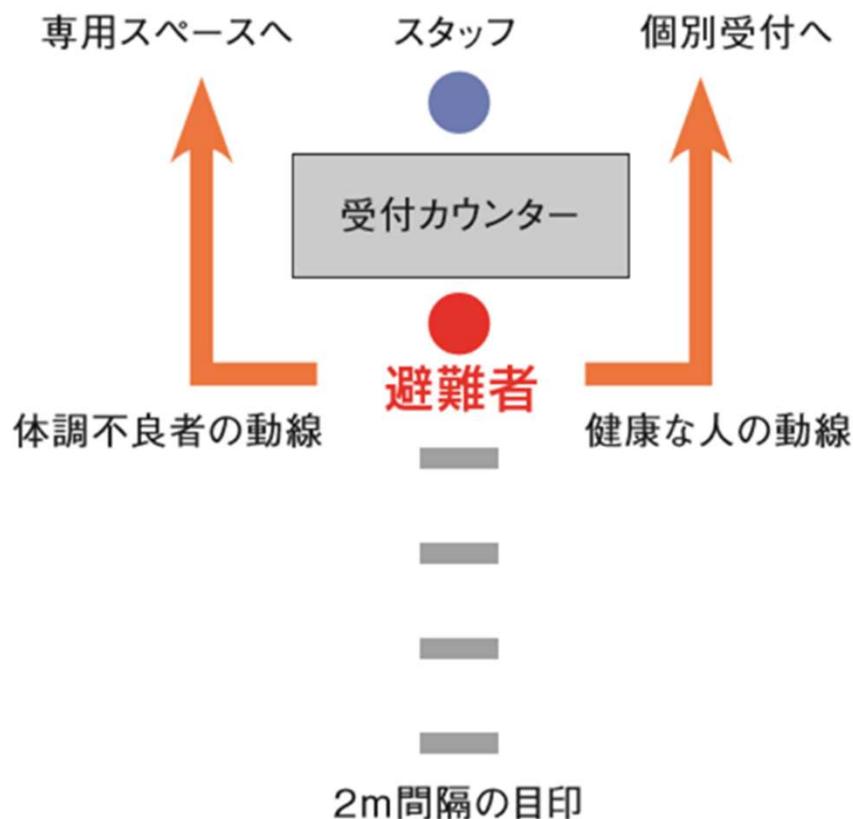


■ 受付に飛沫感染防止スクリーンを設置。



■ 避難者の持ち物確認および健康状態をチェック。

事前受付イメージ



ソーシャルディスタンスを保ちつつ 健康な人と体調不良者を振り分け

避難所内でのコロナ感染を防ぐため、事前受付は避難所入口の外に設置するのが望ましいでしょう。

まず、受付では検温を行うとともに、避難者の手を消毒します。健康な人は、スタッフが避難者の持ち物を確認し、チェック表に健康状態を書き込みます。対面での会話を行う際は、飛沫感染防止スクリーン等を設置するのが望ましいでしょう。その後、避難者は入所受付を行うために「個別受付」へと向かいます。

一方、受付の検温確認時に発熱や体調不良を訴える方がいた場合は、PPE(個人防護具)を装着したスタッフが専用スペースへと誘導します。健康な方との接触をさけるため、できるだけ別動線を設けるようにしてください。

2 個別受付

(避難所への入所手続き)

2 個別受付



■ スタッフと避難者が対面で会話を行う場合は、飛沫感染防止スクリーン等を設置します。

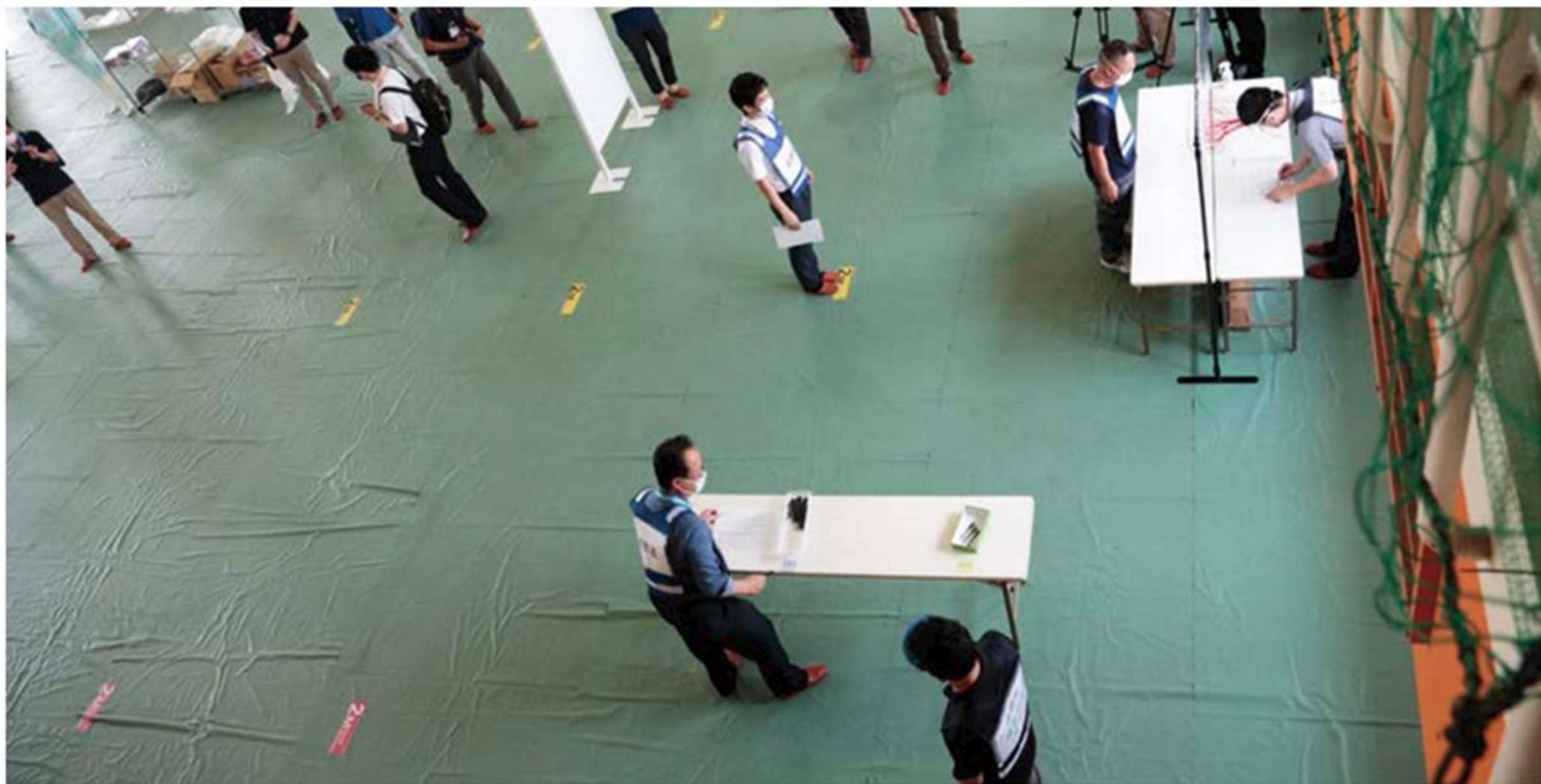
健康な人が事前受付後に向かう「個別受付」では、「避難者カード」を運営スタッフに提出し、避難所の入所受付を行います。

その後、居住スペースへと移動してもらいます。



ポイント

- 避難者が2m間隔で並ぶよう立ち位置の目印を付する。
(運営スタッフによる声かけも行う)
- 避難者カード記入の際も間隔を空ける。
- 筆記用具は使い回しせず、クリップペンシルを活用するなど、
各避難者で別のものを使用、もしくは毎回消毒を行う。
- 受付では飛沫感染防止スクリーン等を設置する。
- 受付ではネームカードを避難者に渡す。
(ネームカードのない避難者は避難所の出入り不可とする)
- マスクを持参していない避難者については、受付に用意して配布する。



■ 避難者は「避難者カード」を記入後、個別受付に移動。ネームカードを受け取り居住スペースへ向かいます。



■ 避難者ごとに使い捨てや消毒済みのペンを使用。



■ ネームカード例。裏側に検温表を設けています。

避難者ごとに使い捨てや消毒済みのペンを使用。

ネームカード例。裏側に検温表を設けています。



3 居住スペース

(健康な人のスペース)

3 居住スペース



「居住スペース」は、健康な人が避難生活を送るための場所です。避難者同士の3密を回避するため、1人当たりのスペースを通常より広く確保することになります。

■パーティションを設けることで飛沫感染を防止できるほか、家族のプライベートな空間をつくることが可能。



POINT

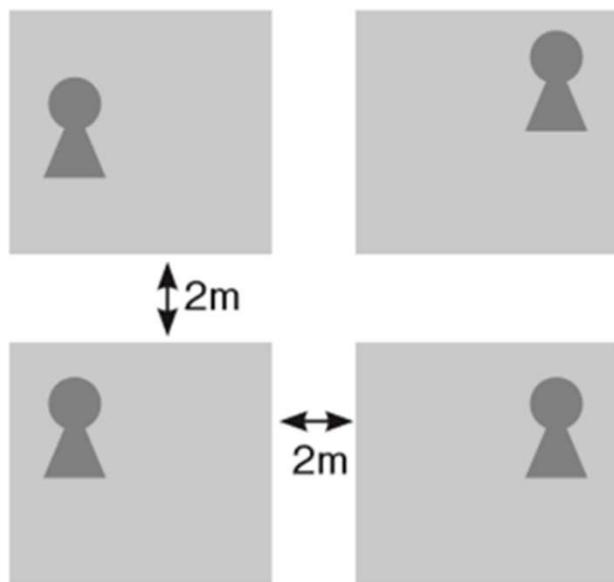
ポイント

- 1人当たりのスペースは4㎡以上、通路幅は2m以上確保する。
- 「パーティション」や「テント」を積極的に活用する。
- 居住区画は、住所（コミュニティ）、性別、ニーズ、要配慮の状況等を考慮した割振りを行う。（区画の番号振りを推奨）
- 施設内の換気や共用部分（ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口等）の消毒を徹底する。
- 毎日検温と体調の確認を行う。



居住スペースから体調不良者が出た場合は一旦「隔離スペース」で聞き取りを行い、できるだけ健康な人との接触を避けながら専用スペースへと誘導します。専用スペースの入口で、PPEを装着した担当スタッフへ引き継ぎます。

パーティションなし

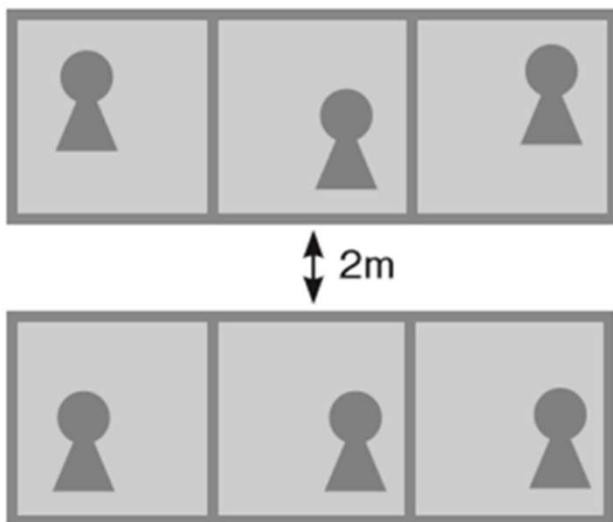


1人当たりのスペースは4㎡以上を確保



■ 1人当たりのスペースは4㎡以上、通路幅は2m以上を確保します。

パーティションあり



1人当たりのスペースは4m²以上を確保



- パーティションを設ける場合は密着して並べることができます。通路幅は2m以上を確保します。

避難所の広さや状況に応じて パーティションタイプを選択



■ 段ボールタイプ1人用



■ 段ボールタイプ4人用



■ 簡易パーティション



■ ワンタッチテント



■ 大型テント

4 専用スペース

(発熱・体調不良者等のスペース)

4 専用スペース



発熱や体調不良のある方には「専用スペース」を設ける必要があります。専用スペース内では、感染症対策が特に必要となります。スタッフは必ず PPE を装着して対応することになります。



POINT

ポイント

- 専用スペースは可能な限り個室にすることが望ましいが、やむを得ず同室にする場合はパーティションで区切るなどの工夫をする。
- 専用スペースには「専用トイレ」を確保することが望ましい。
- 施設内の換気や共用部分(ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口等)の消毒を徹底する。
- 毎日検温と体調の確認を行う。
- スタッフはPPEを装着する。
- 発熱者ゾーンと濃厚接触者ゾーンへの動線をパーティション等で仕切る。



入口には「立ち入り禁止」の看板やシールなどを分かりやすく設置し、健康な人が間違っ
て入ってこないよう十分に配慮します。



スタッフが体調不良者をサポート

事前受付で発熱者や体調不良者が出た場合には、スタッフ付き添いのもと、それぞれのスペースに案内し、体調のチェックや入所受付のサポートを行います。





パーティションを有効活用する

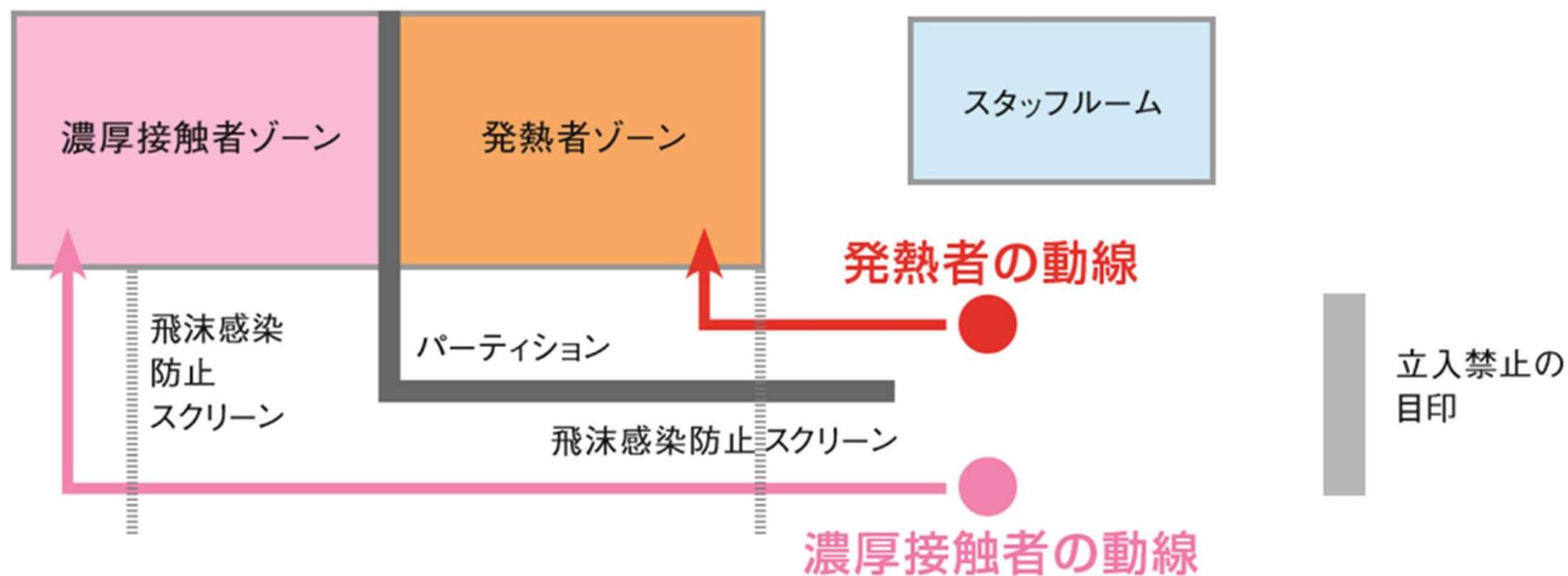
各ゾーンは可能な限り個室にすることが望ましいが、やむを得ず同室にする場合はパーティションで区切るなどの工夫を行います。専用スペースには「専用トイレ」を確保することが望ましいです。



発熱者と濃厚接触者を分ける

専用スペースは可能であれば「発熱者ゾーン」や「濃厚接触者ゾーン」など状況に応じたゾーン分けを行い、パーティション等の設置によって動線を区別します。

1つの教室等を2つのゾーンに区切る場合の設置例





5 PPE (個人防護具)

5 PPE（個人防護具）

事前受付で発熱や体調不良のある方と長時間接する可能性のあるスタッフや、専用スペースのスタッフは、必ずPPEを装着するようにします。その他のスタッフは最低限、眼の防護具（フェイスシールド等）とマスクを装着することが望ましいでしょう。

PPE着脱の手順

PPEの装着は、可能であれば2人で行います。まず、上着を装着した後にゴム手袋を2重に装着します。サージカルキャップをかぶり、フェイスシールドを装着して完成です。

作業中は、手袋をした手で顔を触らないよう注意しましょう。PPEを脱ぐ場合は上着、サージカルキャップ、マスクの順に外し、それぞれを感染性廃棄物用のゴミ箱に捨てていきます。

最後に残った手袋は内側に触れないように片方の手袋を脱ぎ、脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐようにします。

最後のマスクを脱ぐ前に手指消毒をし、ゴム部分を持ってマスクを外します。避難所運営スタッフ全員の体温や体調の確認は、毎日行うようにしてください。

【PPEの着用例】



6 食事の受け渡し

6 食事の受け渡し

食事の配食方法は、居住スペースと専用スペースによって異なります。居住スペースの避難者は配食カウンターで食事を直接受け取りますが、発熱者や濃厚接触者への配食は、スタッフが専用スペースの入口(立入禁止の手前)まで食事を運び、PPEを装着したスタッフへと受け渡します。



ソーシャルディスタンスを保って列に並んでもらうよう避難者に指示を行います。配食テーブルには飛沫感染防止スクリーン等を設置するようにしてください。



食器は「使い捨て容器」または「ラップをしたもの」を使用します。



専用スペースでの受け渡し

発熱・体調不良者の食事は、配食スタッフが専用スペース入口まで運び、PPEを装着した専用スペースのスタッフが避難者に配食します。食後はスタッフが食器を回収し、残飯やラップを感染性廃棄物用のゴミ箱に捨てるようにします。



7 ゴミ処理

(専用スペース)

7 ゴミ処理（専用スペース）

発熱、咳等の症状が出た方のための専用スペースでは、鼻水等が付着したマスクやティッシュ、おむつ等のゴミ処理にも気を配る必要があります。



ゴミ処理の手順

- ①ゴミ箱にゴミ袋をかぶせ、いっぱいになる前に処理します。
- ②ゴミに直接触れないように空気を抜いた後、ゴミ袋を縛り、アルコール消毒を行います。
- ③ゴミ袋をもう一つのゴミ袋の中に入れ、外側の手袋を捨ててしっかりと縛ります。
- ④内側の手袋を脱いだ後は、アルコール消毒を行うか、流水でしっかりと洗ってください。



ポイント

- 手袋を2重に装着し、ゴミが一杯になる前に処理をする。
- ゴミに直接触れないように空気を抜いてしっかり縛る。
- アルコール消毒を行う。
- 2重にしていた外側の手袋を2枚目のゴミ袋に捨てる。
- ゴミ袋を2重にしてしっかり縛る。

参考資料

避難者カード

【様式3】

避難者グループ番号

避難者カード

避難所名					入所日	年	月	日			
1	世帯代表者氏名：					電話：					
	住所：										
2	氏名（ふりがな）	続柄	性別	年齢	避難状態	介護保険要介護度	傷病等	感染症等	障がい	要配膳	
	世帯代表者										
<ul style="list-style-type: none"> ・「避難状態」欄：該当する番号を記載してください。 ①避難所内 ②屋外（車） ③屋外（テント） ④在宅避難 ⑤帰宅困難者（旅行者等） ・「介護保険要介護度」欄：介護保険の要介護認定を受けている場合は、要介護度を記載してください。 ・「傷病等」欄：治療中の傷病等がある場合は、該当する番号を記載してください。 ①糖尿病 ②高血圧 ③高脂血症 ④心疾患 ⑤慢性閉塞性肺疾患 ⑥人工透析 ⑦腎不全 ⑧食事等のアレルギー配慮が必要 ⑨妊娠中 ⑩その他の傷病 ・「感染症等」欄：感染症に係る症状（発熱や咳等）がある場合または濃厚接触者である場合は○を記載してください。 ・「障がい」欄：障がい者手帳の交付を受けている場合は、該当する番号を記載してください。 ①視覚 ②聴覚 ③呼吸器 ④内部 ⑤肢体 ⑥その他身体障がい ⑦知的 ⑧精神 ・「要配膳」は、歩行が不自由等の理由により、食料や物資を配布する列に並べない方に○をしてください（家族が手助けできる場合は除きます）。 											

3	【特別な配慮が必要なことがあれば記入してください】※食事等のアレルギーがある場合は、氏名と原因食物を記載			
4	【資格や技能がある場合は「誰が」「何の資格（技能）」があるか記入してください】			
5	自宅の被災状況	・住める ・住めない（ 全壊 ・ 半壊 ・ 一部損壊 ）		
6	車 (車中泊のみ)	車種（色）		ナンバー
		車種（色）		ナンバー
7	親族等緊急連絡先	氏名：	世帯代表者との関係：	
		住所：	電話：	
8	<p>安否確認のための 個人情報提供の同意</p> <p>（ 大規模災害時に 「災害伝言ダイヤル (171)」や「Web 伝言板サービス」 が利用開始された 場合のみ記入 ）</p>	<p>この書類に記載された避難者の氏名、性別、年齢および避難先について、避難所内での掲示、函館市のホームページでの公開および安否情報確認共同サイト「J-ampi安否情報まとめて検索」に提供することに</p> <p>同意する家族<u>全員分</u>の署名</p> <p>・同意します</p> <p>・同意しません</p>		

----- 以下は退所時に記入をお願いしますので、避難所を出るときは、市の避難所担当職員に申し出てください。 -----

9	退所年月日	年 月 日		
	退所後の連絡先	住所：	電話：	

※この書類の提出により避難者登録され、生活支援が受けられるようになりますので、すみやかに提出してください。提出後に変更があったときは、市の避難所担当職員に申し出てください。

參考資料

避難者名簿

【様式5-1】

避難者名簿

【避難所名】

No.

避難者 カードNo.	氏名	性別	年齢	住所	避難状態（該当するものに○）				入所期間
					屋内	車	テント	在宅	
									年 月 日から 年 月 日まで
									年 月 日から 年 月 日まで
									年 月 日から 年 月 日まで
									年 月 日から 年 月 日まで

参考資料

健康管理チェックリスト



検索は

函館市 避難所について

でしてください。

「函館市避難所マニュアル」で検索すると改訂前のものが表示される場合があります。

避難所レイアウトについて



○密になりにくい場所に
避難所入口や受付を設置します。



○共同空間

受付、掲示板、電話やパソコン設置スペース、
充電場所、物資保管場所、手洗い場、トイレ、
更衣室、洗濯場・物干し場、ゴミ置き場、
シャワー、

食事スペースは、

飛沫感染を防ぐため、できるかぎり占有スペース内にて食事が望ましく、設置を推奨しません。

※設置をする場合は、順番制にする、向かい合わせの椅子の配置を避ける、消毒を徹底するなど、感染症対策のための運用ルールを作成する。



通路は一方通行、
できる限り通行者がすれ違わないようにします。
可能であれば出口と入口を分けることが望ましい。

要配慮者の方が生活することも想定されます。
車いすの方が避難されることもあるでしょう。

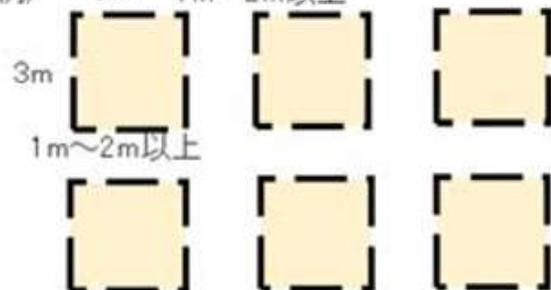


乳児を抱えたお母様も避難されることもあります。
障害特性や要配慮者のニーズに応じた配置、
授乳室や女性だけのスペースの確保など工夫が必要です。

健康な者の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

テーブル等による区画表示

(例) 3m 1m~2m以上



○一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する

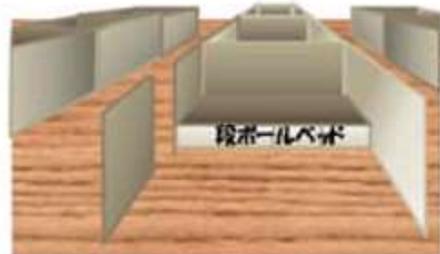
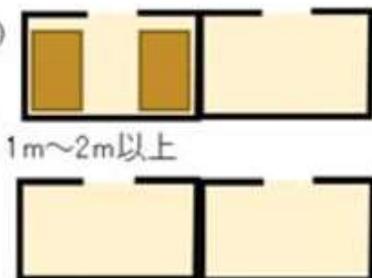
○家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

パーティションを利用した場合

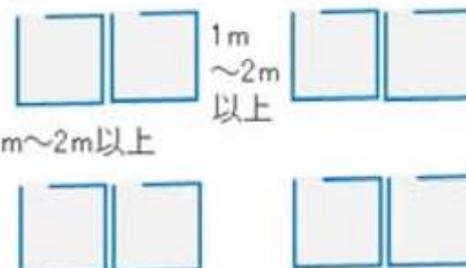
○飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

(例)



テントを利用した場合

(例)

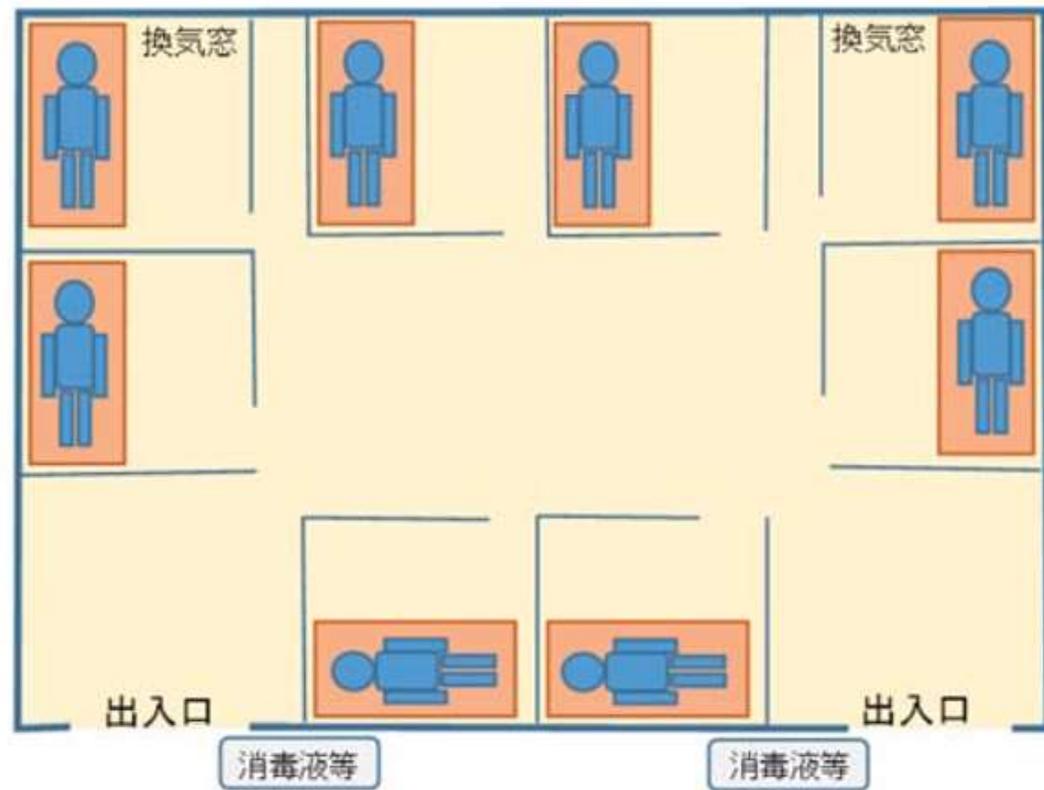
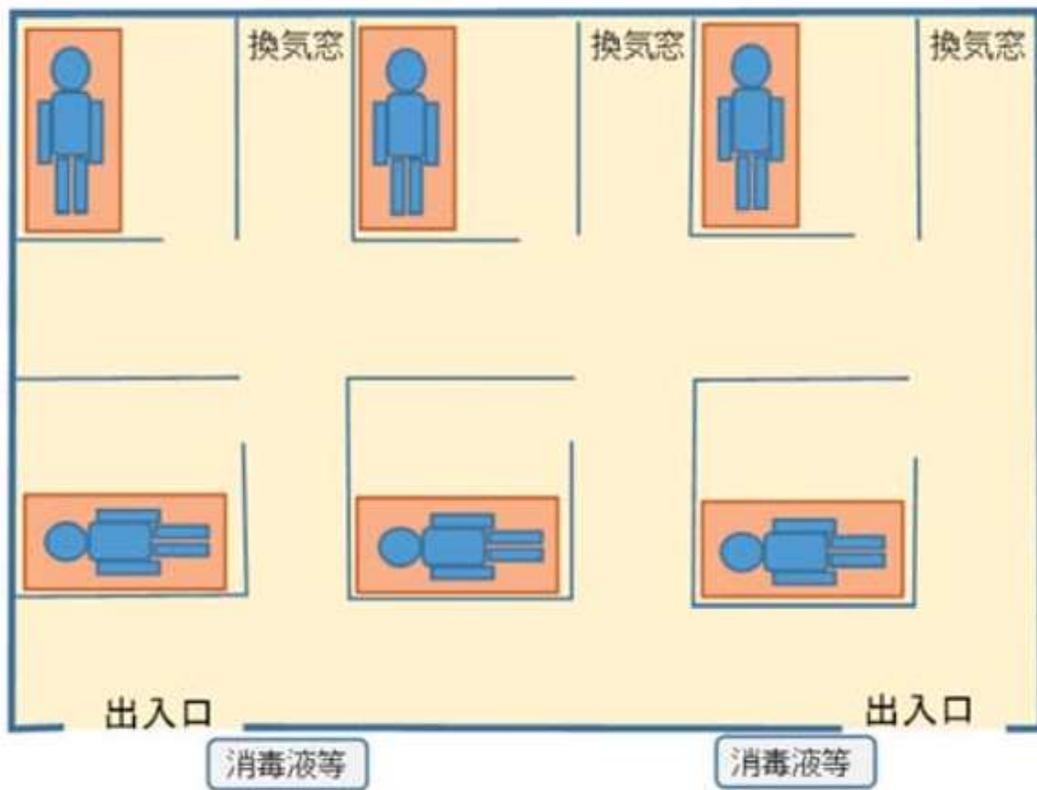


○テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。



感染症リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する者、障がい者、妊産婦等については、避難所内に専用スペースを設けることや別室に案内すること等を推奨。

発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）



<① 従来のレイアウト例>

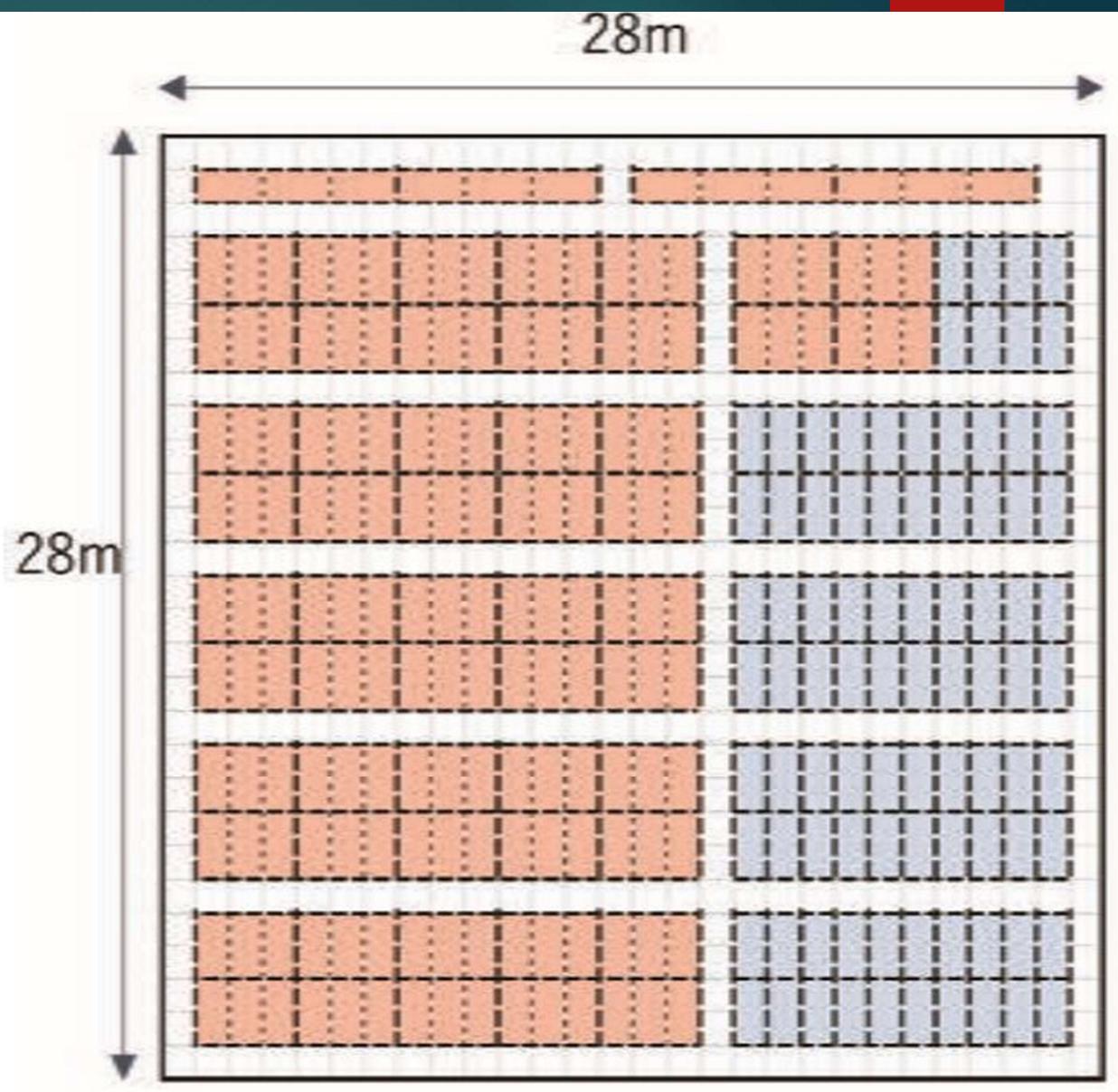
(条件)

面積：2㎡/1人 通路：1m

(収容人数の想定)

■ 3人世帯 × 58

■ 単身 × 88 合計262人



<② 間隔を確保した例(パーティションなし)>

(条件)

面積：4㎡/1人(单身)、3㎡/1人(家族)

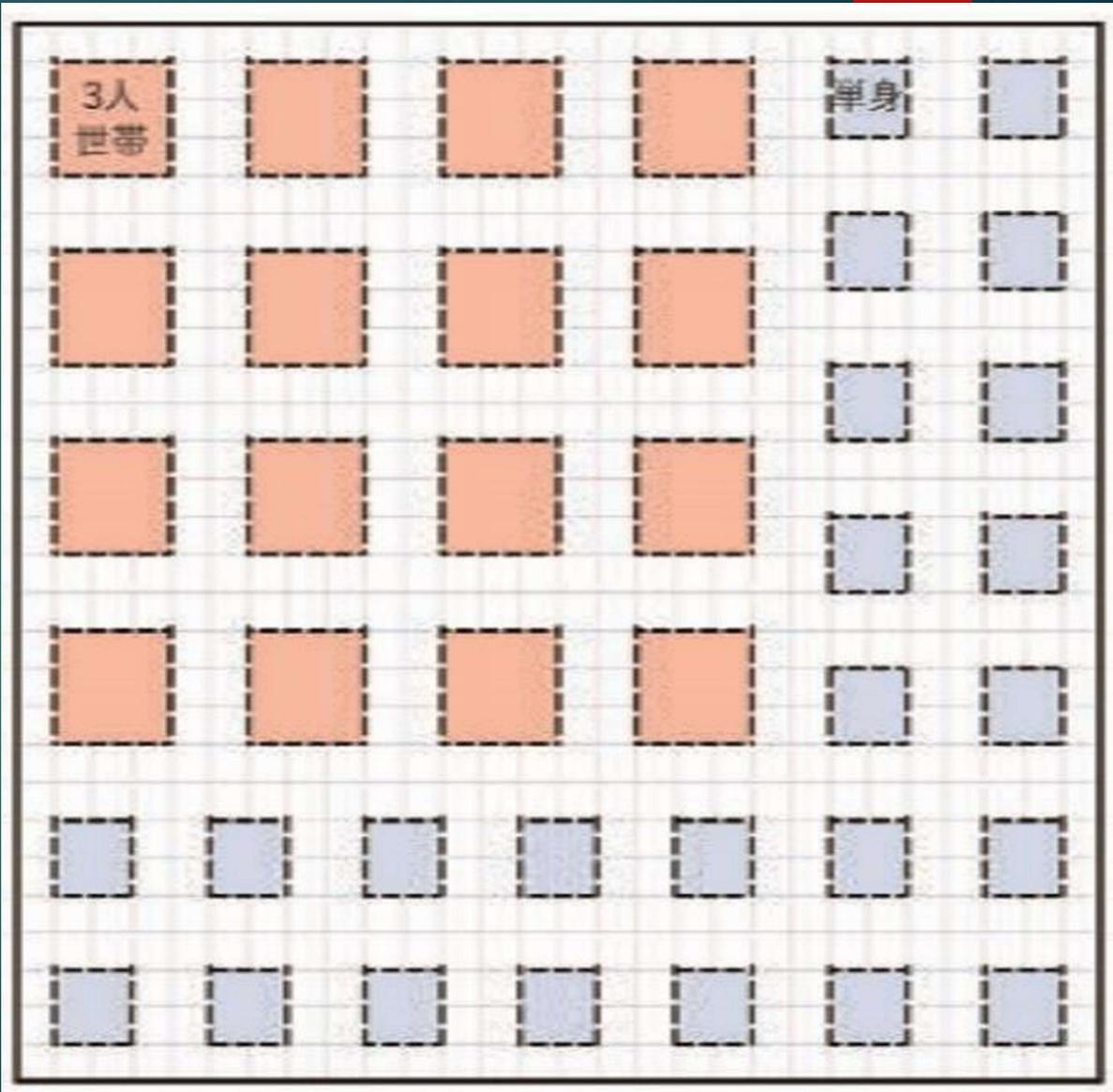
間隔：2m

※家族は3人世帯のみと想定

(収容人数の想定)

■ 3人世帯 × 16

■ 单身 × 24 合計72人



<③パーティションを活用した例>

(条件)

面積：4m²/1人(单身)、3m²/1人(家族)

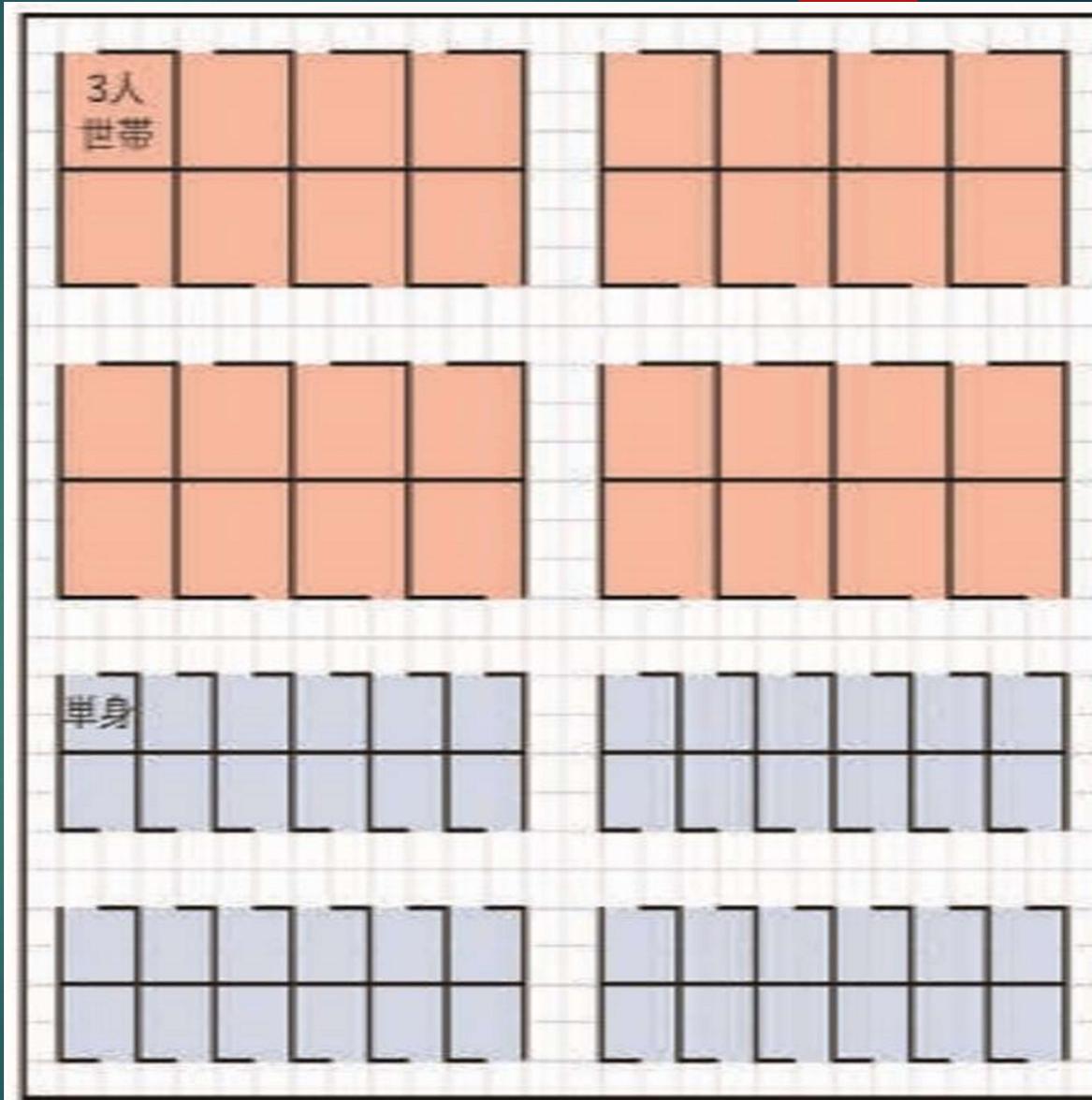
通路：2m

※家族は3人世帯のみと想定

(収容人数の想定)

■ 3人世帯 × 32

■ 单身 × 48 合計144人



函館市職員避難所開設訓練



ご清聴ありがとうございました。